

京都府警察本部警備部長
(昭和62年入庁)

めざせ！治安のスペシャリスト

就職活動に当たって公務員を志望している皆さん、治安の維持という崇高な任務を担う警察に関心をお持ちの皆さん、皆さんには「治安のスペシャリスト」という言葉はどのように響いていますか。

私は、25年前、この「治安のスペシャリスト」という言葉に惹かれ、Ⅱ種採用警察官を自分の進路に選びました。

「治安のスペシャリスト」とは、自分の専門分野に関して、第一線の現場の仕事と、政府機関としての警察庁の仕事の双方に精通し、各種施策の企画立案ができるということです。「この分野の仕事は自分に任せてくれ」と言える専門分野を持っているということです。一人一人が誰にも負けない専門分野を持っていること、これがⅡ種採用警察官の特徴なのです。

もちろん、誰にも負けない専門性は一朝一夕に身に付けられるものではありませんが、Ⅱ種採用警察官には、警察署、警察本部、警察庁と勤務する中で実力が涵養される育成プログラムが用意されていますので心配はいりません。皆さんが、仕事に対してあふれる熱意と強い責任感を持ち、謙虚に周りの人から多くのことを吸収しながら、一つ一つ着実に与えられた任務を果たしていけば、実力はついてくるものと思います。

また、警察庁における各種施策の企画立案のベースは現場の

仕事です。Ⅱ種採用警察官に、現場の仕事に精通することが求められている理由は、正にここにあります。私が警察学校を卒業し、新米警察官として第一線勤務に就く際に、上司から、現場の仕事を「知っている」ではなく「できる」ことが大切だと言われ送り出されたことを今も覚えています。

現在、私は、京都府警察本部で警備部長をしています。警察本部長を補佐し、部の意思決定の責任者としての重責を担っています。「治安のスペシャリスト」を目指す一人である私にとって、これまでの勤務を通じて身に付けた力を発揮する場であるとともに、新たな挑戦の場でもあり、厳しさや難しさに比例する大きなやりがいを感じています。

皆さんが、「治安のスペシャリスト」を目指し、Ⅱ種採用警察官を志望されることを、心からお待ちしています。